

## 令和5年2学期始業式 式辞（要旨）

以前にNHKのテレビで、10代の若者が討論をする番組を見ていた時に、マイクを向けられたある女性が「私には夢がありません。夢がないと駄目なんですか！」と号泣しながら発言をしていた場面を見ました。

その瞬間に、私は猛烈に反省をしました。私たち大人は、特に教師という人種は、皆さんに向かって「夢を持ちなさい！」「夢を実現するために努力をなさい！」とよく言います。それがこの真面目な少女にはとても大きなプレッシャーとなって、さいなまれてきたのだと思いました。

その時に、私の高校生の時の夢は何だったのか。いくら考えても思いつくものはありませんでした。大学生の時も20代、30代と社会人になってからも夢らしきものは思いつきませんでした。しかし、60歳くらいになったときに、自分の夢は、今こうしているように、教師として生徒の皆さんに話をするのが、私の夢だったのではないかと思うようになりました。

夢は「見つける」ものではなく、「見つかる」ものである。夢はいろいろな場所を探し求めて見つけに行くものではなく、日々、一生懸命努力を重ねながら生活をする中で、ふと、これが自分の夢ではないかと思つかるものだと思っています。

この後で披露しますが、本校陸上部の水内君が全国大会で8位に入賞しました。ものすごいことです。しかし、彼が三段跳びという競技を始めた時に、「全国大会に出て入賞しよう」というような夢を持っていたのではないと思います。それが日々努力をし、記録が伸び、大会で成果を残す中で、「将来はオリンピックに」というような夢が見つかったのかもしれない。

ちなみに「夢」と「目標」は少し違いがあります。この話はまたの機会にしたいと思いますが、目標はしっかりと持ってください。特に3年生の皆さんは、これから始まる入試に向けてしっかり目標をもって努力を重ねてください。

皆さんのこれから始まる長い2学期が実りあるものとなることを心から願っています。